



彫り：大城奈美江 刷り：大城奈美江

奈美江さんの彫りは、さっと空に向かって伸びた植物のように見えたり、左上の丸みのある部分がコーヒー豆のようにも見えたりと、配色がグリーンだったこともあって、植物というイメージを受けた。

黄緑色が自分も好きだったので、このままの色で進めることにした。



彫り：仲村渠梨己 刷り：野口桂子

梨己さんの彫りによって、小さな星や流れ星が散りばめられ、印象ががらりと変わって、壮大な宇宙の雰囲気が一気にあらわれてきた。

色々な色が深く入り混じった宇宙の様子や、明るく光る星を表現したくて、赤と黄色を混ぜた明るめの朱色を刷り重ねた。黄緑に重なって、より明るめな色と、緑色も少し見えてきて、まだ宇宙の雰囲気は無いがいい色かなと思った。



彫り：野口桂子 刷り：野口桂子

宇宙に浮かぶものを考えて、地球のような大きめの星と、宇宙の流れを線を沢山入れて彫ってみた。彫るのか楽しくなってきた、どんどん彫っていったので、あいろいろを重ねたときに、思ったよりオレンジが残ってしまったなど感じた。

それでも、あいろいろが入ったことで、宇宙の雰囲気が出てきて、流れ星もより浮き出てきたのが面白いと思った。



彫り：大城奈美江 刷り：野口桂子

奈美江さんの最後の彫りで、太陽が入って宇宙が完成した。

太陽の明るさを入れたかったが、先にのせたあいろいろに負けてしまいそうだったので、それよりも濃いめのこげ茶色を重ねてみた。

太陽の光を表すように残った周辺のすじが、太陽がそれぞれの星に与える影響力やエネルギーを感じさせるようで、いい作品にしあがったと思った。

番号 27 勤務校 鏡が丘特別支援学校 氏名 野口 桂子



彫り：仲村渠梨己 刷り：仲村渠梨己

梨己さんのハートの図柄にパールオレンジと赤を混ぜたという柔らかいピンクの色がとてもよく合っていて、イメージがピッタリでこの色から進めていくことにした。

ふわっと浮かんだハートの風船のような、ふわふわしてかわいらしい表現が広がっていきそうで、彫り進めていくのが楽しみな作品になりそうだなと感じた。



彫り：野口桂子 刷り：野口桂子

まずピンク色を残したいところを考えて、大きめのハートの部分を彫っていった。それから周辺も彫っていき、二つの長丸を登場させて、仲良し二人組のような、生えてきた植物のような、どちらともとれる絵を浮かばせて彫った。柔らかいイメージを残せるように、明るめの黄緑に青を混ぜて、青緑の色をつくって重ねると、渋めの黄緑色になって、想像した感じになってよかった。



彫り：大城奈美江 刷り：野口桂子

自分が彫っていった二つの長丸に、奈美江さんの彫りが重なってによきによきと生えてきた植物のような、もぐら？のようなものが出てきた。交差した線がおもちの焼きめのようにも見えて面白い。

鮮やかな色を強調させるために、紫色に青を混ぜて、濃い紫色にして重ねた。最初のピンク色が浮き上がるように出てきて、濃い目の色を重ねる面白さを感じた。



彫り：仲村渠梨己 刷り：野口桂子

梨己さんの上から重なるような彫りが加わって、ハートを取り囲むような周りのすじがどんどん増えていって完成した。

目や顔を入れたくなるような、かわいい感じが出てきたので、見ている人たちに色々と想像を膨らませる作品になっているのではないかと感じた。鮮やかなピンクをさらに強調させてみよう、最後は黒でまとめた。ピンク色の鮮やかさが生きて、配色の不思議さや面白さを感じることでできた作品だった。

番号 27 勤務校 鏡が丘特別支援学校 氏名 野口 桂子



彫り：野口桂子 刷り：野口桂子

自由に、でもあまり意味のないデザインでと考えて、自分の好きな曲線を本当に自由に彫っていった。丸みのある、風のような、波のような雰囲気です。どんどん掘っていくと、とても楽しくて「こうしなければならぬ」というような窮屈な考えもなく、表現の楽しさはこんなところにあるのかなと感じた。色は、空や海、どちらでも進められるように、水色に白を足して、明るい色にしてみた。



彫り：大城奈美江 刷り：野口桂子

奈美江さんの彫りで曲線の波のようなデザインが加わって、海の雰囲気が出てきた。下半分が、サンゴ礁のようにも見える。

明るい青を重ねて、海の雰囲気をそのまま残したいと思って重ねると、同系色でも元の水色が鮮やかに出て、とてもいい感じだなと思った。白く浮き出た元の彫りの部分が、まだ具体的な感じではないので、どう変化していくか楽しみだと思った。



彫り：仲村渠梨己 刷り：野口桂子

梨己さんが、私の最初に彫った白い模様の部分を鳥に見立てて彫っていたので驚いた。自分にはその発想がなかったので、見る人が変わると、下半分も波ではなく鳥の巣に見えるのだと感心した。鳥が出てきたことで、下半分も、深い森の木のような雰囲気もあって、面白くなった。鳥の身体を表現したいと茶色と黄色を混ぜた色でぬり重ねてみた。右側の鳥がまだはっきり出ないが、4色目でくっきりでたらきれいだと思う。



彫り：野口桂子 刷り：野口桂子

最後の彫りでは、親鳥の目やほっぺを出して、表情がでるようにしてみた。空に雲を浮かばせて親子の鳥が自然の中で仲良くしている雰囲気になるようにしていった。小鳥や親鳥の表情をはっきりさせたくて、赤に黒を混ぜて、濃い赤にして4度目の色をのせた。3度目の黄色と混ぜて茶色っぽくなったが、絵がくっきり見えてきてよかったと思う。自分の想像を超えた作品になって、彫り進みリレー版画の面白さを味わうことができた。